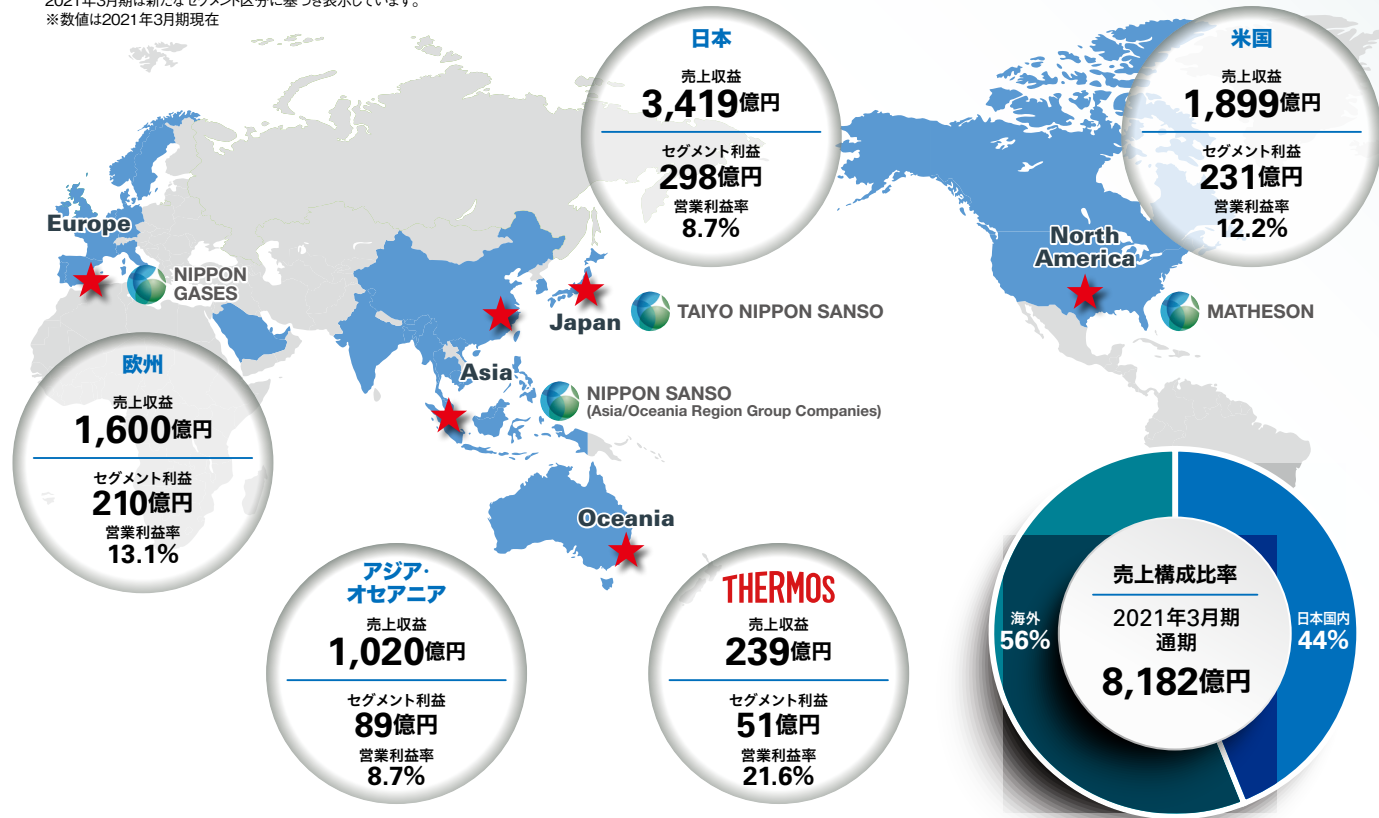


事業展開

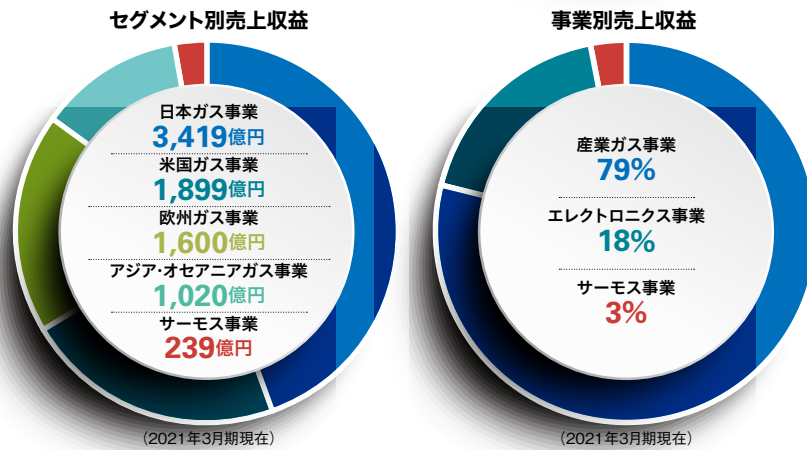
産業ガス事業では、日本、米国、欧州、アジア・オセアニアのグローバル4極体制が確立。産業ガスは消費地立地のビジネスモデルのため、各地域での事業環境や市場特性は各地域の事業会社が熟知しており、さらなる権限委譲を図ることで、迅速で機動的な経営や事業運営につなげている。

2022年3月期でセグメント区分の内訳組み替えを実施したため、2021年3月期は新たなセグメント区分に基づき表示しています。
※数値は2021年3月期現在

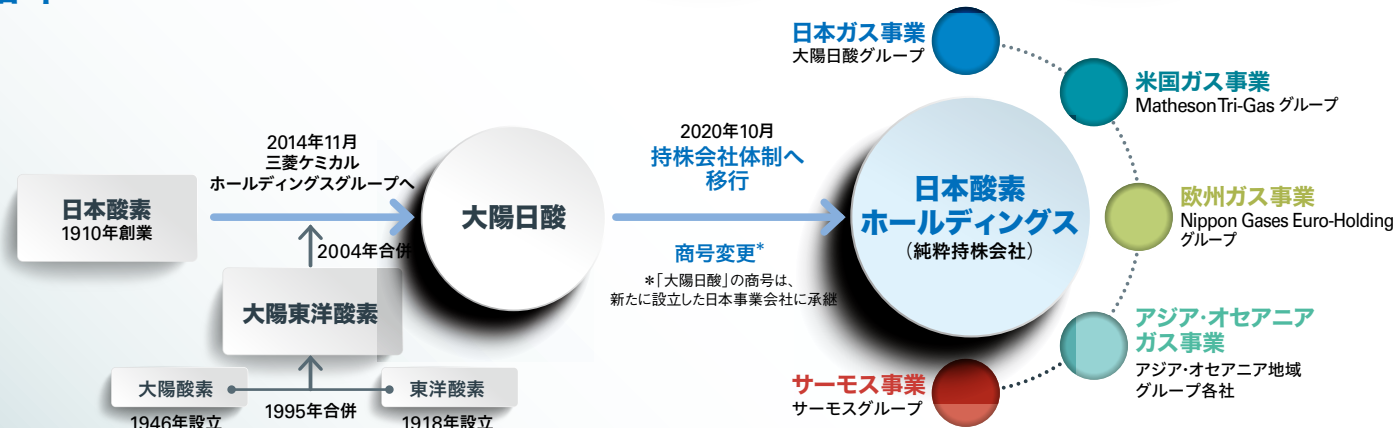


会社概要

商号
日本酸素ホールディングス株式会社
創業年月日
1910年10月30日
連結売上収益
8,182億円 (2021年3月期IFRS基準)
連結営業利益
888億円 (同上)
時価総額
10,407億円 (2021年11月30日現在)
連結従業員数
19,357人 (2021年3月31日現在)
国内 6,599人 / 海外 12,758人



沿革



さらに詳しい情報はコチラ➡ [日本酸素ホールディングス IR](#) 検索

The Gas Professionals

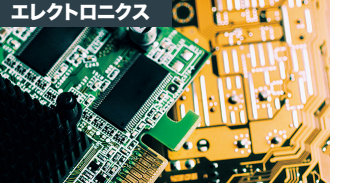
日本酸素ホールディングスグループは、世界の30の国と地域で事業を展開する産業ガスサプライヤーである。
また、グループ傘下のサーモス事業では世界120カ国以上に、「THERMOS」ブランドの製品を出荷する。
ここでは、主に産業ガスの供給を通じて、世界各国の産業の発展に貢献する同社の事業概要を紹介する。

主要な事業

産業ガス事業	エレクトロニクス事業	サーモス事業
 酸素 (Oxygen)、窒素 (Nitrogen)、アルゴン (Argon)、水素、一酸化炭素、合成ガス (Hydrogen, CO and syngas)、炭酸ガス (Carbon dioxide)、ヘリウム (Helium) 上記に関連する機器・工事	 アルシン (AsH₃)、ジボラン (B₂H₆)、モノフルオロメタン (CH₃F)、塩化水素 (HCL)、ホスフィン (PH₃)、シラン (SiH₄) 上記に関連する機器・工事	 スポーツボトル、ケータイマ、タンブラー、フライパン、真空保温調理器、スーブジャー

多種多様な分野で利用されている産業ガス

マテリアル	ケミカル	ファブリケーション	ライフサイエンス
 鉄鋼・非鉄精錬・ガラス・セラミックス・セメント・紙・その他素材 素材産業へ新素材や革新的な製造プロセスに関わる技術を提供	 石油化学・化学産業・ゴム・プラスチック・その他有機材料 原料ガス、防爆・劣化防止、雰囲気制御による反応最適化など、生産性および安全性向上に寄与する製品・技術を提供	 自動車、建設機械、橋梁、建築、造船 自動車、建設機械などの組み立てや加工、金属・セラミックス・機能性材料の製造・加工に関する技術を提供	 医療、医薬、バイオテクノロジー 液化窒素利用技術を基盤にバイオテクノロジー分野などに医療用酸素や酸素同位体「Water-¹⁸O」などを提供

フード	アグリカルチャー	エレクトロニクス	エネルギー
 食品製造・加工 窒素封入や食品冷凍など食糧・食品市場へのソリューションを提供	 農業、漁業、林業 炭酸ガスを用いた害虫駆除装置や養殖産業向けの高濃度酸素などを提供	 半導体、液晶、太陽電池 窒素ガスや電子材料ガスを供給するとともに配管施工や設備点検など一貫通貫のソリューションを提供	 二次電池・再生可能エネルギー・太陽電池・新エネルギー 従来の化石エネルギー分野に加え、太陽電池、電力貯蔵、再生可能エネルギーの各分野で適用可能なソリューションを提供

事業を支える基盤技術

プラントエンジニアリング技術	ガスハンドリング技術	ガスアプリケーション (ガス利用) 技術
 空気分離装置 (ASU: Air Separation Unit) の設計・製作・据付・メンテナンスまでの一貫したプラントエンジニアリング技術を持ち、高効率で優れたアルゴン収率 (大気中からアルゴンを収集する性能) を持つプラントを、国内外で数多く納入した実績がある。	 多種多様なガスを製造・混合・精製する高度な専門技術を持ち、適切な設備や保安技術に基づいて安全に供給できる。あらゆる製造業の生産活動を支えるとともに、新しい生産プロセスの提案などを通じて、お客さまや社会にさまざまな価値を提供。	 エアセパレートガスや電子材料ガスを中心に、ガス利用設備 (機器類) の研究開発と、100年以上のガス供給経験・知見・実績に裏打ちされたガスハンドリング技術を組み合わせ、お客さまの要望に即した課題解決につながるガス利用技術を提供。